

授業科目	＊基礎看護学実習Ⅱ				実務家教員担当科目	－	
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	梶原 江美／隅田 由加里／長崎 恵美子／幸 史子／中島 紀江／西田 彩子						
授業概要	入院患者受け持つことを通して、生活者としての理解と対象者がもつ看護問題の解決に向けた看護過程の展開に必要な基本的な能力を養う。また、対象者との関わりや看護実践を通して、看護専門職者としての基本的態度の修得を目指す。 実務家教員として、医療現場での看護師経験を活かし、医療施設における対象の看護について支援する。						
授業形態	対面授業			授業方法	実習		
学生が達成すべき行動目標							
標準的 レベル	臨地実習指導者や教員の助言を受けて、以下の実習目標のもと、各行動目標の達成を目指して実施する。詳細は、2025 年度看護学実習要綱に記載している。 [実習目標] 1. 担当患者と援助的人間関係を築くことができる。 2. 担当患者を生活者として理解し、患者の持つ看護問題の解決に向けて検討することができる。 3. 担当患者の看護問題解決に向けた看護の実施および評価ができる。 4. 看護者に求められる態度・姿勢とは何かについて考え、行動することができる。 5. 自己の看護観を育むことができる。						
理想的 レベル	臨地実習指導者や教員の助言を受けて、以下の実習目標のもと、各行動目標の達成を目指して実施する。詳細は、2025 年度看護学実習要綱に記載している。 理想的レベルとしては、実習目標を達成するにあたって自身の思考力や実践力を洗練化するために主体的に行う姿勢があることを期待する。 [実習目標] 1. 担当患者と援助的人間関係を築くことができる。 2. 担当患者を生活者として理解し、患者の持つ看護問題の解決に向けて検討することができる。 3. 担当患者の看護問題解決に向けた看護の実施および評価ができる。 4. 看護者に求められる態度・姿勢とは何かについて考え、行動することができる。 5. 自己の看護観を育むことができる。						
評価方法・評価割合							
評価方法		評価割合（数値）			備考		
試験							
小テスト							
レポート		30					
発表（口頭、プレゼンテーション）		10					
レポート外の提出物							
その他		60			看護実践		
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング							

